

さぬき市教育振興基本計画策定委員会（第3回） 会議要旨

- 1 日時 令和4年12月6日（火） 18:30～20:25
- 2 場所 寒川第2庁舎 203会議室
- 3 出席者 【委員】大高哲也 細川昌宏 山下美穂 三好成其 松木正美  
 大山 強 七條正典 三井重彰  
 【事務局】和田教育長 谷教育部長 安倍教育総務課長  
 高西学校教育課長 細川生涯学習課長 中川幼保こども園課長  
 山田人権推進課長 多田教育総務課課長補佐
- 欠席者 土佐清二 杉山智志
- 傍聴者 なし
- 4 議題 ○さぬき市教育振興基本計画（案）について  
 ○その他
- 5 会議の内容

発言者	意見概要
教育総務課長	ただ今から、第3回さぬき市教育振興基本計画策定委員会を開会します。 はじめに、七條委員長に御挨拶をいただきます。
委員長	（委員長挨拶）
教育総務課長	続きまして、さぬき市教育委員会和田教育長から御挨拶を申し上げます。
教育長	（教育長挨拶）
教育総務課長	それでは、議事に入ります。 ここからの進行は、さぬき市教育振興基本計画策定委員会設置要綱第5条の規定に基づき、七條委員長にお願いします。
委員長	それでは、本日の会議の傍聴について、事務局から報告をお願いします。
教育総務課長	会議の始まる時刻までに傍聴人はいません。
委員長	傍聴人がないということですが、会議中に傍聴があれば許可することで、御異議ありませんか。

委員	異議なし
委員長	異議なしということで、傍聴を許可します。次に、会議の議事録の作成について、事務局に一任してよろしいかお諮りします。
委員	異議なし
委員長	異議なしということで事務局に一任します。 それでは、前回の会議で審議できていなかった方針4について、意見をお伺いします。
委員	指標の「子どもSOS」設置数の目標値ですが、総合計画の数値と異なっています。基本的には、同じ数値が入るべきで、どちらかに揃えるべきだと思います。
学校教育課長	具体的な数値を表記した方がいいですか。
委員	どちらかに揃えて、その数値の根拠を説明できればよい。
委員長	どちらかに揃えて、根拠を説明できるように。総合計画と教育振興基本計画の整合性を図るべきだと考えます。 続いて、教育振興基本計画の素案について、事務局から説明をお願いします。
教育総務課長	(素案の全体的な説明)
各課長	(ページ順に骨子案からの修正箇所、指標の設定について説明)
委員長	事務局からの説明が終わりましたので、委員の皆さん、御意見、御質問等をお願いします。

委員	「中学校の英語検定受験率」の目標値30%という数値は妥当ですか。
委員	英検の日程は、決まっているため、部活動や行事等の都合により、受験することが難しい生徒もいます。受験を希望していても受けることができない場合もあるので、30%は妥当な数値だと思います。
委員	7ページの指標について、「授業の内容がよく分かる／だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合」についてですが、現状の数値は小学校5年生が72.3%、中学校2年生が62.4%、この数値はどう考えますか、妥当ですか。
委員	小学生は、現状に近い数値だと考えます。「だいたい分かる」をどう捉えるかによって数値は変わると思います。
委員	中学生は、二極化しているのが現状です。テスト結果の階層分布から考えても、この数値は妥当であると思います。また、自己評価が高い子とそうでない子がいますので、集約するとこの数値になろうかと思われます。
委員	自己評価と関連付けますと、日本人は自己肯定感が遺伝子的に低い民族だと言われています。日本の国土面積は世界の0.25%、それなのに、災害大国です。そういった環境の影響も大きく影響しているようで、脳科学的にも証明されています。子ども達も高学年になればなるほど、遠慮深くなり、自分自身を低く評価する子が多くなる傾向にあるのではないかと思います。
委員長	確かに、学年があがると、特に中学生になると自己肯定感が低くなります。これは、向上心が強い表れでもあります。数値目標については、校長先生から妥当であると御意見をいただきましたが、県の分析を参考にすると一定程度、指標の目安が分かりますと思います。
委員	8ページ、具体的な推進策で「タブレットの日常的な持ち帰り」とあるが、今後4

	<p>年間で持ち帰りは当たり前になろうかと思われるが、この表記はよいのか。17ページ、ICT機器の使用に関する指標で、目標値は妥当か。30ページ、市内はどの学校も学校支援ボランティアを活用しているが「地域学校協働本部やコミュニティスクールなどの仕組みを生かして保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の現状の数値がすべての学校になっていないのはなぜか。36ページ、37ページのところ、「市民講座」、「人権出前講座」、「人権・同和教育研究グループ」など用語の解説が必要ではないか。12ページ、「サポートファイルかけはし」の現状の作成率は100%ではないか。10ページ、「外国語教育の推進」について、小学校でも英語教育が必修化されているので、小学校の指標も掲載すべきではないか。</p>
<p>委員長</p>	<p>用語の解説は、知らない人が見ても理解できるように必要なものは掲載すべきです。外国語教育の小学校の指標については、他市を参考に掲載した方がよいかと思えます。</p>
<p>教育長</p>	<p>御指摘の数値等については、確認、検討します。人権教育に関する用語の解説は、追加します。</p>
<p>委員</p>	<p>タブレットの日常的な持ち帰りについてですが、高松市は、来年度から全ての学校において持ち帰りを実施するようです。この分野は、想像以上に早く進むはずです。</p> <p>15ページ、「部活動の地域移行の段階的な実施」に関連しますが、来年度の中学校総体から地域スポーツクラブの参加が認められることが正式に決定しました。最終的には、各地区、各競技ごとに検討することになりますが、参加については、認められます。部活動の地域移行についても、進み具合が早くなっているため、市としての方向性について早めに検討すべきかと思えます。</p> <p>続いて、17ページの指標、「授業中に調べる場面で、ICT機器をどの程度使用したか」という問いに対して、「ほぼ毎日、週3回以上」と回答した児童生徒の割合についてですが、「授業中に調べる場面で」ということで、使用方法が限定され、中学校の数値は低くなっています。実際、学校現場において、子どもたちは、自分の意見を交流する手段や部活動で動画をとって自分のフォームを検証するというように</p>

	<p>様々な場面において、ICT機器を有効に活用しています。この指標については、再度検討していただきたいと考えます。</p>
委員	<p>38ページ、「じんけんフェスタにおける講演会の参加人数」について、目標値は70名としているが、もう少し上げてはどうか。コロナ禍の前の水準にしてはどうか。</p>
人権推進課長	<p>コロナ禍の前の数値にするか、検討させていただきます。</p>
委員長	<p>人数などの数値よりも、内容やその工夫が大事な場合もあるので、慎重に検討していただければと思います。</p>
委員	<p>コロナ禍を経験して、講演会など人が集まる会議は、オンラインで開催されるなど、工夫した取組をすることで、参加者の幅が広がったように思います。例えば、講演会の会場に足を運ぶことはできないけれども、自宅でオンライン講座なら参加できるという人もいます。そういった人の数も含めれば、コロナ禍前の人数よりも多くなることも予想されます。また、GIGAスクール構想の進展によって、小・中学校では、早いスピードでICT化が進んでいます。一方で、幼稚園は若干遅れているような気がします。子どもの安全管理についても、ICTを活用できますが、市内でそういった機器を取り入れているのは、津田こども園だけです。幼稚園も視野に入れていただきたいと思います。</p>
教育長	<p>幼稚園におけるICT化については、現段階で計画に記載することはできませんが、今後取り組んでいくべき内容であると思っています。</p>
委員長	<p>会議、講義等については、オンライン開催を併用すれば、参加対象の幅が広がるというメリットもあります。貴重な意見だと思います。</p>
委員	<p>26ページ、(仮称)細川林谷記念館の「(仮称)」という記載は、削除できない</p>

	<p>のか。</p>
生涯学習課長	<p>現段階では、記載が必要です。</p>
委員	<p>29ページ、「へんろ資料館」という名称でいいのか。</p>
生涯学習課長	<p>「前山活性化センター」、「おへんろ交流サロン」といったようにいくつか名称がありますが、この計画においては、「へんろ資料館」という名称が適当であると考えています。</p>
委員	<p>市民が分かりやすい名称を使うのが一番よいと思います。</p>
委員	<p>14ページ、「教職員の時間外勤務時間が月80時間を超えている」とあるが、80時間というのは、何かで決まっている基準ですか。</p>
教育部長	<p>香川県の「教職員の働き方改革プラン」を受けて、さぬき市でも働き方改革プランを作成しています。このプランの中で月80時間という基準を設けています。まずは、超過勤務時間が長い人から減らそうという趣旨で80時間の基準値を用いて指標を設定しています。</p>
委員	<p>17ページ、ICT機器の活用状況を示す指標については、どのような指標にすれば、現実に近い数値がでるのか、現場の先生にお伺いしたい。</p>
委員長	<p>後日、事務局の方で校長先生に確認していただいて、現実に近い数値が出る指標内容にしていただければと思います。</p> <p>14ページ、働き方改革の推進を掲げている一方で、研修の回数は減っていない。研修内容の充実や、研修の工夫で、先生方の負担を減らし、働き方改革を推進していくことが大事です。</p> <p>9ページ、「特別の教科道徳」の用語解説について、修正をお願いしたい。</p>

<p>委員</p>	<p>全体的に、語句に整合性がとれていないところがあるので、確認してほしい。</p> <p>19ページ、「多様性を認め合う学校づくり」のところ、「学級・学校づくり」としてはどうか。</p> <p>27ページ、「地域資源を活用した特色ある事業の充実」のところ、香川大学の学生がへんろ道を歩くという活動をしています。そういった事業も知っていただいて、市と協力して、地域資源を活用することも手立ての一つです。</p> <p>61ページ、「臨床心理士によるカウンセリング」のところ、公認心理師という資格もできており、そちらが主流になってきているので、「公認心理師・臨床心理士」と記載してはどうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて、素案1ページの第1章「計画の策定に当たって」、素案62ページの第3章「教育施策の実現に向けて」、最後の付録の部分について、意見があればお願いします。</p> <p>私からの意見ですが、計画全体の中で、語句の確認をしていただければと思います。根拠があるのなら、語句が異なってもかまいませんが、同じであれば統一すべきかと思います。</p> <p>委員の皆さん特にありませんか。</p> <p>ないようであれば、素案の審議については、終わります。</p> <p>ここで皆さんにお諮りします。本日の会議で出された委員の皆様からの意見に基づいて、素案に所要の修正を加えたのちに、その修正した案をもって、12月20日からパブリックコメントを実施する予定です。時間的なこともありますので、パブリックコメントに提出する修正案の作成につきましては、委員長、副委員長に一任いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>その場合、委員の皆様には、次回の2月7日の会議において、パブリックコメントの実施が終了し、そこで出された市民の意見等を反映した後の案が、事務局から示されることとなります。</p> <p>いかがでしょうか。御異議ありませんか。</p>

委員	異議なし
委員長	<p>異議なしということで、修正案の作成については、委員長、副委員長に一任させていただきます。</p> <p>それでは、次回の会議日程等について、事務局から説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>次回の会議については、パブリックコメント終了後、来年2月7日（火）午後6時半から203会議室で開催する予定です。</p> <p>なお、パブリックコメントについては、12月20日から30日間程度実施する予定としています。</p>
委員長	<p>以上で、本日の議事は終了しました。閉会に当たり、副委員長から御挨拶を申し上げます。</p>
副委員長	<p>（副委員長 挨拶）</p> <p>閉会</p>